

Lesson 3

【お金を貯める・増やす・借りる】**I お金を貯める**

Q1 銀行にお金を預けると、どうして利息が付くの？

→ 利息は、お金の「レンタル料」ともいわれる・一定期間(通常1年間)に、どのくらいの割合で利息が付くのかを表すものが金利

→ 金利が高ければ、利息がたくさん付く

〔金利の種類〕(お金を銀行に預けた場合)

- ・ 単利 : 最初に預けた元本に対してだけ、一定の割合で付く利息のこと
- ・ 複利 : 最初の元本に一定期間後の利息を加えたものを、次の元本として計算して付く利息のこと

Q2 同じ金利なら、“単利”と“複利”どちらの方が利息は多くなる？

単利 ・ 複利**II お金を増やす**

Q3 もっているお金の増やし方は？

貯蓄する、株式・債券・投資信託を購入する など

〔金融商品の3つの特性〕

- ・ 流動性 : 必要な時にすぐに換金できるか
- ・ 安全性 : 元本(元手)や利息の支払いが確実か
- ・ 収益性 : 期待できる収益の大きさ

この3つをすべて兼ね備えている金融商品はない

自分の資金のニーズや目的に合わせて、どの特性を重視した金融商品を選ぶかを考える

Q4 次の資金について、あなたなら“金融商品の3つの特性”のうち、どれを重視する？

	A. 3年後の結婚資金	B. 10年以上先の教育資金	C. 20年以上先の老後の資金
重視する特性 (流動性・安全性・収益性)	<u>流動性</u>	<u>安全性</u>	<u>収益性</u>
理由	<u>すぐに必要になるため</u> など	<u>元本が保証されているから</u> など	<u>長期的に運用できるから</u> など

・収益性の高い金融商品を選ぶ場合、忘れていけないのがリスクである「Don't put all your eggs in one basket」→ 「1つのカゴに、すべての卵を盛るな」→ 投資をする場合、1つの資産に集中して投資するのではなく、“値動きが異なる複数の資産”に「分散投資」することで、リスクを抑えることができるといわれている

・「人生100年時代」、手持ちの資産を取り崩す期間が長くなり、“資金寿命”をいかに延ばすかも重要になっている

Q5 投資の対象は金融商品だけではない。他にどんなものがある？

→仕事に必要なスキルを身につけたり、資格を取得したりするなど、自分に対する自己投資も大切！
仕事に就いてからも、必要と感じたタイミングで学び直すリカレント教育にも注目が集まっている

Ⅲ お金を借りる

Q6 あなたは、友達にいくらまでならお金を貸せますか？ 貸さない、500円、3000円 など

- お金を借りられるのは、借りる人に「信用」があるから
- 銀行などでローンを組んでお金を借りた場合、【元本(借りた金額)+利息(レンタル料)】を返済する

$$\text{借りた金額(元金)} \times \text{金利} \times \text{借入期間} = \text{利息}$$

Q7 お金を借りる時の金利は、どうやって決まるの？

- 例) [
- 信用が 高 ければ、返済が行われない可能性が低いので、金利は 低 めに設定される
 - 信用が 低 ければ、返済が行われない可能性を想定して、金利は 高 めに設定される

もし、返済できなくなったら…

担保となった財産の差し押さえ

個人信用情報機関に情報が登録され、その後の借入が難しくなることも

お金を借りる際には、“どれだけ借りられるか”よりも、“きちんと返済できるか”の視点を大切に

Q 8 2年後、進路を決める時、進学費用の準備が難しい…。どうする？

- 奨学金 : “返還(返済)が必要なもの”と、“返還(返済)が必要でない(給付される)もの”がある
学生 が対象
- 教育ローン : 必ず返済する
保護者 が対象

振り返り (1:できなかった 2:まあまあできた 3:できた 4:よくできた)

[授業で学んだこと・印象に残ったことなど]